

目次

1面

絵

「風景」(1954年)

浜田知明

詩

ヒロシマというとき

栗原貞子

2面

エッセイ

関東朝鮮人大虐殺100年
殺す側に立たない生き方

石川逸子(詩人)

石川逸子さんの新著発刊

『オサヒト覚書き——関東大震災編』(一葉社刊・2000円+税)

関東朝鮮人大虐殺一〇〇年とどう向き合うか②

出版されなかった『横浜市民84人の証言』
朝鮮人虐殺の目撃談掲載が理由に

高梨晃嘉(かながわ歴史教育を考える市民の会)

韓国で虐殺被害者の遺族と会う
「忘れまい」と闘う人はいる

安田浩一(ノンフィクションライター)

3面

エッセイ——学徒出陣から80年

今、この年を「新しい戦前」のはじまりにしてはならない!

冠木克彦(日本戦没学生記念会〔わだつみ会〕理事長)

朝・日大学生一大行動《(トルパ)プロジェクト》

継続する植民地主義を突破するために

朝鮮人虐殺を記憶し朝鮮人差別に反対する朝日大学生一大行動実行委員会

HOWS講座9月9日(土)

関東大震災時の朝鮮人大虐殺から100年(講師=金哲秀)

朝鮮人大虐殺関連・首都圏集会

4面

《2023年夏季釀金アピール》

いまこそ労働者が戦争を止めるとき

岸田政権の壊憲攻撃・軍拡路線と闘おう!

〈活動家集団 思想運動〉常任運営委員会

広島「平和公園」と真珠湾「国立記念公園」の姉妹協定は屈辱的愚行!

高嶋伸欣(琉球大学名誉教授)

5面

辺野古新基地建設をめぐる住民の訴訟
その意義について考える

白充（弁護士）

HOWS講座9月23日(土)

沖縄から世界へ平和の風を——反帝反基地運動の最前線から訴える（講師＝金治明）

寄稿

全労働者組合で沖縄訪問
沖縄の怒りにヤマトは連帯していいのか

庄子正紀（全国一般・全労働者組合）

6～7面

連載

新疆ウイグル自治区を訪ねて（上）
天山南路各地での見聞、体験から

木原健一（京都府在住）

TOPIC・トピックス

東部労組・大久保製塩支部が7月7日に社前集会

村上理恵子

関東朝鮮人大虐殺一〇〇年
千葉フィールドワーク

千綿くう

8面

パート労働者から見た岸田政権の労働政策
「リスクリング」の意味するところとは

米丸かさね

インボイスは増税そのもの
「STOP！インボイス」に連帯を

田ロケイ

労働者通信

保釈中の被告人にGPS装着
逃走防止の前に「人質司法」の解消を

藤本愛子・公務労働者

9面

烈士の抗拒と7月ゼネスト
尹錫悦退陣の先頭にたつ民主労総

土松克典

六月の議会選挙の結果は何を示したか
ギリシャ共産党さらに伸張し得票率七・七%に
ユーツォンパス・ギリシャ共産党中央委書記長の声明

10面

エッセイ

「社会主義か死か！」
——問題は原発だけではない

二瓶一夫（福島県三春町在住）

原発汚染水海洋放出の準備整う
緊迫！ 放出阻止の運動正念場に！

角田政志（福島県平和フォーラム共同代表）

右翼の妨害はねのけ新宿でアピール
群馬の森朝鮮人追悼碑撤去反対！

群馬の森朝鮮人追悼碑撤去に反対する市民の会

11 面

生誕 110 年 栗原貞子の詩に寄せて
八月に思い出されるべき反戦詩人

大村歳一・長崎県出身

『康ソンセンニムと学ぶ朝鮮と日本の2000年』を読んで
歴史を正しく学び、考え、行動へ

谷崎奏子（千葉大学学部生）

前照灯
現代の女性解放を

紙つぶて
クラスター爆弾使用に反対の声を

中野哲明（元高校教員）

催物案内

12 面

「おきなわ」写真展を観て
印象に残った表情と人びとの交流

土田宏樹

頂門一針
張子の軍事大国

椎名麟三の草稿
世田谷文学館コレクション展を観て

杉山雄大（二松学舎大学非常勤講師）

編集部発

付録 1 面

朝鮮戦争停戦七〇年国際シンポジウム
七〇年目を迎える朝鮮戦争停戦協定体制と「新冷戦」

林裕哲（朝鮮大学校外国語学部准教授）

HOWS 講座 8 月 26 日（土）

【未来】今後の非同盟運動のゆくえ——2022・ウクライナ戦争以降（対談＝高演義、林裕哲）

付録 2 面

資料・朝鮮戦争停戦七〇年に考える
朝鮮国際戦犯法廷最終判決
国際法からみた朝鮮戦争

訳者解説

朝鮮国際戦犯法廷とは

大村歳一